

【NK603、MON810、MON863 の概要】

名称	除草剤グリホサート耐性トウモロコシ NK603 系統	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON810 系統	コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON863 系統
申請者	日本モンサント株式会社	日本モンサント株式会社	日本モンサント株式会社
性質	除草剤グリホサート耐性	チョウ目害虫抵抗性	コウチュウ目害虫抵抗性
製品の概要	<i>Agrobacterium</i> sp.CP4 株に由来する改変 <i>CP4 EPSPS</i> 遺伝子を導入して作製されており、除草剤グリホサートの影響を受けずに生育できるとされている。	<i>Bacillus thuringiensis</i> ssp. <i>kurstaki</i> に由来する改変 <i>cry1Ab</i> 遺伝子を導入して作製され、チョウ目害虫による影響を受けずに生育できるとされている。	<i>Bacillus thuringiensis</i> に由来する改変 <i>cry3Bb1</i> 遺伝子を導入して作製され、コウチュウ目害虫による影響を受けずに生育できるとされている。
宿主	とうもろこし（デント種）	とうもろこし（デント種）	とうもろこし（デント種）
挿入遺伝子（供与体）	改変 <i>CP4 EPSPS</i> 遺伝子（ <i>Agrobacterium</i> sp.CP4 株）	改変 <i>cry1Ab</i> 遺伝子（ <i>Bacillus thuringiensis</i> ssp. <i>kurstaki</i> ）	改変 <i>cry3Bb1</i> 遺伝子（ <i>Bacillus thuringiensis</i> ）
選択マーカー	なし	なし*	<i>nptII</i> 遺伝子
導入方法	パーティクルガン法	パーティクルガン法	パーティクルガン法
官報掲載日	2001.3.30	2001.3.30	2002.2.21

* 導入にはグリホサート耐性遺伝子（*CP4 EPSPS* 遺伝子、*GOX* 遺伝子）が用いられ、グリホサートを含む培地で選抜を行ったが、組換え体には導入されていなかったことから、最終的にはグリホサートを含まない培地で再生し、チョウ目幼虫を用いた生物検定が行われている。